

される。ホルモン産生型特殊細胞癌は扁平上皮癌および未分化癌の一部に認められることが多く、電顕的にも特殊顆粒が証明される。

3. 治療

(1)放射線治療

九大放 中川英二

放射線単独治療による肺癌の治療成績、特に切除可能な肺癌の治療成績および長期生存例の検討を行った。対象例はすべて確診例のみである。

5,000rad以上照射出来た150例の粗生存率は、1年34%、2年14%、5年9%(9/101)であり、切除が十分可能と思われるI期、II期49例の粗生存率は、1年57%、2年29%、5年16%(5/32)である。手術を除く治療を目的とした確診例254例の5年粗生存率は5%(9/190)である。

2年以上生存例は20例であり、生存中13例(再発、転移を認めたもの5例)、死亡7例である。全例に対するこの20例の各因子をみると、女に多く50才未満に多い。Stageの早いもの程多いがIII期にも6例ある。6,000rad以上ではほとんど差はなく、腫瘍が4cm未満に多く、腺癌が最も多く未分化癌が少い。

(2)手術療法

九大第2外科・胸研 吉田猛朗

肺癌手術例218例について、予後におよぼす諸因子について検討した。予後を決定する最大の因子は病期であって、腫瘍が肺内に限局している時期は予後がよい。リンパ節転移が分岐部、縦隔に至る時期になれば、遠隔転移の可能性がかなりある。腫瘍の大きさが2cm以下であれば、予後は格段によいが、それ以上になると、腫瘍の大きさは予後

に余り関係しない。未分化癌の予後は不良である。扁平上皮癌の予後は腺癌に比しいくらかよいかも知れない。高年者の予後は手術適応を慎重にすれば、若年者のそれと変わりはない。ただ全肺切除は高年者の場合、更に選択されねばならない。

術前照射療法の効果は不確定で routine に用いられる療法とは考え難い。

(3)制癌剤

久留米大学医学部 第1外科

猪口嘉三

癌腫に対する外科的療法の成績を向上させるためには、まず転移の問題を解決してゆかねばならない。N₁, N₂まで進展したstageの進んだ症例を中心に私どもの試みている制癌剤の topical administration の効果について述べた。

本法によれば制癌剤を選択的かつ持続的に転移好発リンパ節に到達せしめ短期間で十分な効果を求めうる。また対側縦隔リンパ節のようなinvisibleな癌細胞よりの再発や転移にも対処することができる。すなわち、Surgicalな廓清を更に補い、より高いcurabilityを期待することができる。本法は手術対象として頻度がたかく且つ問題の多いstage II, III症例の adjuvant therapy として有意義な手段であると考える。

48. 最近1年間に経験した肺癌症例について

鹿大 腫瘍研 市来輝也

松元 実, 守田則一, 柚木一雄

鹿大 第二内科 美坂幸治

有馬 桂, 林 良昭, 下川原宏

石走俊太郎, 友松博美

仲尾嘉之, 野村紘一郎

古庄弘典, 宮原健吉, 永井俊治

二川俊文, 塩飽徳行, 菊地 博

松元 正, 西岡紘一郎, 佐藤八郎
鹿児島通信病院 高木茂男

過去1年間に経験した原発性肺癌29例、年令分布は約70%が60才以上の高年令層で、男女比は約3:1。今回は主として新制癌剤の効果を検討するため、単独療法が主体となった。臨床効果は、CQ (Carbazilquinone) 60mg以上使用例で未分化癌に33%の効果を認めたが、60mg以下でも約30%の効果を認め、CQに関しては60mg以下で判定し、効なきときは他の療法に切り換える必要がある。Iphosphamide, Trophosphamideでは14%に効あり、胃腸障害、膀胱刺激症状が大きな障害となった。Bleomycinでは半数に効果を認めたが、全例に発熱があった。

49. 興味ある陰影を呈した混合型肺癌の一例

佐世保総合病院内科

申塚重和, 石崎 驥

長崎大学第II内科 雨森博政

籠手田恒敏, 奥野一裕

吉村 康, 中野正心, 原 耕平

73才の男性。主訴は左肩甲部痛である。入院時の胸部単純像では右上肺野に肺門より連なる索状影と僅かな雲状影、右下肺野に透亮像を伴う径5cmの腫瘤状陰影、左中野に径2cmの腫瘤状陰影と左肺尖部に、鎖骨上窩の手拳大の腫瘤の陰影があった。鎖骨上窩の腫瘤と臀部の皮下腫瘤に対して、吸引生検を行った。前者は未分化癌小細胞型、後者は扁平上皮癌と診断をうけた。FAMT療法を行ったが肺炎を併発して死亡した。

剖検の結果は扁平上皮癌と未分化癌小細胞型の混合型であった。原発巣は右主気管支と考えられたが、胸部X線上性状の異なる陰影を呈した転移巣は右上

肺野の雲状影の部は組織的に未分化癌小細胞型と扁平上皮癌の混合型，右下肺野の肺化膿症を思わせる部は扁平上皮癌が主体をなし，左中肺野の充実性の腫瘤状陰影の部は未分化癌小細胞型の単一型だった。

50. 興味ある組織像を呈した肺癌(腺癌)の一例.

熊本大学第一内科 尾崎輝久
管 久子, 徳永勝正, 岳中耐夫
樋口定信, 福田安嗣, 安藤正幸
志摩 清
国立療養所再春荘 岩崎健資
小清水忠夫

症例は52才，男，自覚症状なく，集検にて，胸部異常陰影を指摘され，低分化型腺癌と診断。左全葉摘出により， S_1+2C を中心とする $4.5 \times 3\text{cm}$ の乳白色で硬く，境界明瞭な腫瘍を認めた。組織学的には，腫瘍の辺縁部で，ごく一部に乳頭状ないし管腔形成を認めるが，中心部に移るにしたがい，癌細胞は充実性に増殖，癌細胞の胞体は明るく，細胞のまわりには多数の小囊胞状空隙を形成し，更に細胞間には，本腫瘍の特徴所見であるエオジンに淡染，PAS陽性の硝子様物質が沈着，一部では全体をこれが占めている像も認められる。以上より，この症例は，確証はないが，通常の肺癌とは異なった気管支腺由来の癌と考え，今後更に詳しい検討を加えたい。

51. 転移性肺腫瘍について

久留米大学医学部第一外科教室
衛藤道生, 喜多隆昭, 武田仁良
桑野建治, 猪口壽三, 脇坂順一
教室に於ける臨床例と併せ，最近10年間の本学病理剖検記録から，肺への遠隔転移の状態を調べてみると，約35%に肺転移が認められた。また，剖検時，肉眼的に広範囲に肺転移巣がみ

られる症例においては，鏡検的にも周囲への浸潤が著しいものが多いが一方，孤立性の肺転移の場合でも目に見えない微小転移巣が予想外にみられる。これを病理学的見地から，転移性肺腫瘍に対する手術適応の妥当性について考察した。

52. 縦隔に発生したGerminal Tumor

長崎大学第1外科 柴田紘一郎
綾部公懿, 足立晃, 日石満州男
柴田興彦, 窪田美佐雄
富田正雄, 辻 泰邦

2例の Germinal Tumor を経験したので，その臨床および発生病理学上若干考案を行った。

1例は手術不能で生検のみ施行し，術後Liniac8000 R照射して腫瘍の縮小みるも，1年後局所再発にて死亡。2例目は術前6000 Rにて手術，腫瘍切除，術後前胸部3000 R，リンパ節転移あり，鎖骨部に4750 R照射にて腫瘍縮小するも，3ヶ月目に心肺不全にて死亡す。しかしこの症例は，病理学的に摘出縦隔腫瘍，頸部リンパ節生検，剖検時の腫瘍組織像は異っていた。つまり放射性感受性の強いセミノーマ部分だけが消失し，teratogenesis も抑えられた結果，単一構造のものとなったものと思われる。

53. 肺のadenoid cystic carcinomaの3例

九大二外科 白日高歩
国立九州がんセンター

大田満夫, 安元公正
気管支粘液腺由来の腫瘍のうち，cylindroma type のいわゆるadenoid cystic carcinomaの3例を経験した。3例中第1例は気管支末梢領域から発生し，臨床的に肺性肥大性骨関節症の症状を呈し，同症状は術直後より改善した。第2例は手術不能で

あり，放射線感受性は認められなかった。第3例は手術不能例であったが9年間生存し，low grade malignancyを裏づけるものであった。(組織像はいずれも異型性の比較的少ない細胞によるcribriformな形態が認められ，Alucian-blue PAS 陽性であった。)第1例については電顕的検討を行った。

54. 『中葉症候群を初発症状としたMalignant lymphomaの一例』

熊本大学医学部第一内科

菅 守隆, 浜田和裕, 立石徳隆
福田安嗣, 安藤正幸, 志摩 清
症例は24才男子で，主訴は持続性の咳・痰・喘鳴発作，発熱。現病歴は17才頃より，咳・痰が続き，48年6月胸部X線にて中葉症候群，低 γ -グロブリン血症を認め入院となる。入院後AB-PC投与，約1ヶ月後全身に紅斑が出現，皮膚生検にてReticulum cell sarcoma，リンパ生検にては異型細胞を認めるのみで，lymphoblastの浸潤は明らかでなかった。(ツ反(-)，DNCB(-)で細胞性免疫の低下，免疫グロブリンにてIgG600ng/dlと低値を示しており，血清蛋白6.2g/dl， γ -グロブリン8.2yで但 γ -グロブリン血症を認めている。)immunological surveillanceの長期低下が今回のmalignant lymphomaの発症につながったのではないかと考える。

55. 「特異なレ線像を示した肺癌の2例」

久留米大学倉田内科 横田孝義
外山博之, 岡本鎮弥, 立花征幸
松林皓爾
久留米大学第1外科 岡田 清
星子哲彦, 武田仁良
久留米大学放射線科 谷村陽子
症例1)29才の男性。胸部レ線